広報ひこね 通巻第1255号（平成23年11月1日発行）
発行：彦根市〒522-8501 滋賀県彦根市元町4番2号 ☎0749-22-1411㈹ FAX 0749-22-1398
編集：情報政策課 ●1日・15日発行 彦根市ホームページ http://www.city.hikone.shiga.jp/

彦根市では、点字および音声版広報ひこね（編集版）を発行しています。問い合わせ先：㊐障害福祉課☎27-9981、FAX26-1767。また、外国語版（英語、中国語、ポルトガル語）の広報ひこね（編集版）も発行しています。問い合わせ先：㊐人権政策課☎30-6115、FAX24-8577

芸術の秋を鮮やかに彩る 市美術展覧会

第60回（平成23年度）彦根市美術展覧会が9月19日から25日までひこね市文化プラザで開かれました。今年度は、「アートフェスティバル～美術と音楽のコラボ～」として、総出品数502点の中から400点が展示され、併せてコンサートや作品講評会も行われ、多くの人が芸術鑑賞に浸っていました。

なお、一般出品426点の中から、市展賞6点、特選26点、佳作16点、入選276点が選ばれました。また、過去3年間連続特選を受賞したなどにより、無鑑査となった人の作品から、4点が無鑑査奨励賞に決まりました。

市展賞、特選および無鑑査奨励賞は次のとおりです（敬称略）。

問い合わせ先 ㊐教育委員会文化振興室☎23-7810番、FAX21-3080番

《日本画部門》

市展賞
▽えんどうの花 長谷川みよ（古沢町）

特選
▽タマ 曽我光博（肥田町）
▽人形とふうせん 井上禎子（松原町）
▽鶏頭 山岡 勝（城町一丁目）

無鑑査奨励賞
▽春の兆し 谷村純子（後三条町）

《洋画部門》

市展賞
▽残像 上田喜美子（松原町）

特選
▽木漏れ日 夏川郁子（南川瀬町）
▽老舗 廣瀬 巖（松原町）
▽五穀豊穣 片岡太助（東近江市）
▽画室の一隅 加納玲子（城町二丁目）
▽蓮池 目戸てるよ（高宮町）
▽Par le Vent 印南和子（鳥居本町）
▽満ち足りて 八木清子（鳥居本町）

《彫刻部門》

市展賞
▽ちいちゃんちの畑にて（H22・12・30） 小谷政雄（橋向町）

特選
▽頭像 石原 実（日夏町）

《美術工芸部門》

市展賞
▽縁～えにし～ 北村久美子（中藪二丁目）

特選
▽滉 舟越一生（西今町）
▽茗荷の家族、明日へ 小杉明生（愛知郡愛荘町）
▽てっぽうゆり 松宮陸朗（犬上郡甲良町）

無鑑査奨励賞
▽Chaos 長谷川幸子（彦富町）

《書部門》

市展賞
▽李頎の詩 松田江美子（新町）

特選
▽劉基詩 伊藤舞香（日夏町）
▽竹馬 堤 笑子（地蔵町）
▽臨 金冬心 髙橋優香（愛知郡愛荘町）
▽鳴鶴詩古座峡八勝より 諸岡富美子（平田町）

無鑑査奨励賞
▽平家物語抄 岡野有泉（古沢町）

《写真部門》

市展賞・滋賀県芸術文化祭奨励賞
▽群舞 武藤幹男（松原町）

特選
▽休止 河崎 彰（上岡部町）
▽出番 石田茂未（米原市）
▽街角 小菅正一（犬上郡多賀町）
▽静寂閑雅 近野光生（堀町）
▽ハートに響く情景 松本恭博（長曽根南町）
▽マルタ島の印象 岩谷伸亮（開出今町）
▽旭を貯めて 三島康嗣（日夏町）
▽枯葉 小笠原 勇（小泉町）

無鑑査奨励賞
▽朝霧に浮かぶ 松竹 隆（長曽根南町）

▲滋賀県芸術文化祭奨励賞を受賞した写真部門 武藤幹男さんの「群舞」

表紙の写真

彦根市では、平成24年2月11日に市制施行75周年を迎えます。これを記念して、10月5日に、ひこね市文化プラザで記念式典を行いました。

記念式典では、75年間を振り返るスライドの上映や、市勢の振興と公益の増進に大きく貢献された団体への感謝状の贈呈を行ったほか、彦根市出身のジャーナリスト田原総一朗さんによる講演もありました。

表紙の写真は、彦根音楽連盟合唱団が「彦根市民の歌」を歌っている場面です。

人口と世帯数

平成23年10月1日現在

人口	112,400人	(+69)
男	55,492人	(+16)
女	56,908人	(+53)
世帯数	43,982世帯	(+80)

（ ）内は前月との比較

VEGETABLE OIL INK
▶「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用しています。
▶廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▶この「広報ひこね」は49,200部作成し、1部当たりの単価は10円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。